

授業科目名	公衆衛生看護支援技術 I (個人・家族)	担当教員	◎鶴岡 章子、川上 裕子、 佐々木 亜希子	科目ナンバリング NP301
選択	開講年次：3年前期	単位：2単位	授業形態：講義30時間	

【授業概要】

公衆衛生看護活動において個人・家族への支援である健康相談、健康教育、健康診査、家庭訪問の理論と方法について理解する。さらに、地域で生活する個人・家族の健康課題を、集団・組織や地域全体と相互に影響し合う健康課題としてアセスメントすることにより、地域ケアシステムの構築や社会資源の開発の意義を学修する。

【達成目標】

1. 個人・家族への支援の基本となる健康相談、健康教育、健康診査、家庭訪問の理論と方法が理解できる。
2. 個人・家族の健康課題と集団や地域全体と健康課題との関連を考えることができる。
3. 様々な健康課題を抱えた個人・家族に応じた支援活動を検討することができる。

【履修条件】

「地域の健康と看護」、「公衆衛生看護とヘルスプロモーション」、「公衆衛生学」を修得していること。

【授業計画】

[01] 保健師が行う保健指導の目的、対象、特徴	(鶴岡)
[02] 保健行動と保健活動	(鶴岡)
[03] 家族の定義と特性、家族を単位とした看護の必要性	(川上)
[04] 家族アセスメントの理論と方法	(川上)
[05] 健康相談① 健康相談の目的・対象・方法	(鶴岡)
[06] 健康相談② 健康相談のプロセス、健康相談の企画・実施・評価	(鶴岡)
[07] 健康教育① 健康教育の目的・対象・技術と基礎理論	(鶴岡)
[08] 健康教育② 健康教育の方法とプロセス	(鶴岡)
[09] 家庭訪問① 家庭訪問の目的・対象・技術	(佐々木)
[10] 家庭訪問② 家庭訪問のプロセス	(佐々木)
[11] 家庭訪問③ 家庭訪問の評価、関係機関・職種との連携、社会資源の開発	(佐々木)
[12] 健康診査① 健康診査の目的・対象・技術	(鶴岡)
[13] 健康診査② 健康診査のプロセス、特定健康診査と特定保健指導	(鶴岡)
[14] 事例から学ぶ個別指導	(川上・佐々木・鶴岡)
[15] 事例から学ぶ家族保健指導	(川上・佐々木・鶴岡)

【教科書】

荒賀直子・後閑容子他(2022)：公衆衛生看護学.jp(第5版データ更新版)，インターメディカル。

【参考書】

中村裕美子他(2020)：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術(第4版)，医学書院。

井伊久美子・勝又浜子他(2021)：新版保健師業務要覧(第4版)2022年版，日本看護協会出版会。

【評価方法・評価基準】

定期試験：70%、課題レポート：30%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：「地域の健康と看護」「公衆衛生看護とヘルスプロモーション」など、公衆衛生看護学に関する科目を復習して授業に臨む。(2時間)

事後学習：各回の授業内容を復習しておく。(2時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅳ.ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは評価しフィードバックする。

【備考】

(保選)保健師国家試験受験資格取得のための選択必修科目